

# 陸前高田市津波避難計画策定に向けた基本的方針（骨子案）

※ 本案を基に、アドバイザー会議で議論を行い、調整した上で、案を作成するものである。

- ☞ 本市では、平成26年7月に「震災検証報告書」を取りまとめ、その検証作業から得られた主な反省と教訓は、人的被害を防ぐには「避難が何より重要」であり、この検証結果を基に、これまで市民と共に本市震災復興計画による災害に強い安全なまちづくりを進めてきた。
- ☞ 一方、岩手県においては、津波防災地域づくりに関する法律に基づき、令和4年3月に、本県最大クラスの津波浸水想定を公表した。併せて、今後の津波防災対策に生かしていくことを目的として、令和4年9月に「岩手県地震・津波被害想定調査報告書」を公表した。
- ☞ こうした状況下において、本市では、市民1人ひとりが、迅速かつ確実に避難が出来るよう「陸前高田市津波避難計画」を策定するものである。



本計画の策定にあたり、津波避難対策の専門家で構成する「陸前高田市津波避難計画策定アドバイザー会議」を設置し、助言をいただきながら、内容を検討していく。

## 今回の策定において新たに検討し、定める事項

岩手県の津波避難計画策定指針に規定する「定める事項」のうち、本市で定めていない以下の事項について、今回新たに検討し、策定を進めていく。

- 1 避難困難地域
- 2 避難場所等、避難路等の指定・設定（一部については指定・設定済み）
- 3 その他留意点（観光客等の避難対策等）



「定める事項」について、より実効性が伴う内容となるよう検討を進めるために「取組むべき事項、重点検討項目」を設定する。

### 取組むべき事項、重点検討項目

- ・ 津波避難シミュレーション  
※ 津波避難シミュレーションは、令和6年度予算で措置済み。
- ・ 個別避難計画作成に向けた検討
- ・ その他アドバイザー会議で指摘された事項

## 【津波避難計画策定に向けた今後のスケジュール】

- |            |   |
|------------|---|
| ○ 令和6年4～6月 | 取組む事項の実施作業、重点検討項目の検討                    |
| 夏頃         | シミュレーション結果及び重点検討項目の取組み状況の途中報告、計画案作成作業開始 |
| 12月        | 計画案報告、助言等により計画案調整                       |
| 令和7年3月     | 計画策定                                    |